

令和元年度 第3回 岡山県医療対策協議会【議事要旨】

1 日 時：令和2年2月14日（金）15：10～16：15

2 場 所：メルパルク岡山 3階 「芙蓉」

3 出席者：別紙のとおり

4 議題

(1) 専門医制度整備指針の改訂及びサブスペシャリティ領域専門研修細則（案）への意見について

(2) 令和3年度臨床研修病院の募集定員について

5 その他

・2020年度専攻医一次登録における領域別採用状況について

・専攻医シーリングに係る国への意見について

6 議事要旨

議題

(1) 専門医制度整備指針の改訂及びサブスペシャリティ領域専門研修細則（案）への意見について

事務局から、意見照会の趣旨等について説明があり、事務局案が了承された。

〈事務局案〉

専門研修は、へき地や医師不足地域等の連携施設等をローテートしながら研修を行うことにより、医師の偏在是正に貢献している側面があることを踏まえ、連携施設等における研修期間の設定等に当たっては、地域の医師不足等の実情に十分配慮すること。

(2) 令和3年度臨床研修病院の募集定員について

・事務局から、令和3年度の都道府県ごとの上限定員及び各病院の募集定員（案）について説明があった。

・園尾委員から、要望書の提出があった。

・協議会の総意として、県から国に対して、上限定員への反対意見を提出することとなった。

・各病院への募集定員配分については、継続協議となった。

〈委員の主な意見〉

・国から示された上限定員は、昨年に比べ大幅に削減されており、このままでは必要とする研修医の確保ができない。これを黙って受け入れるのか。県から要望書を提出すべきではないか。

・上限定員の撤回が出来ないのであれば、せめて激変緩和措置をしてほしいとの要望をすべき。

・上限定員が県全体の採用実績を上回っているとはいえ、医師国家試験の合否が影響することを考慮すれば、それを見越した定員数が必要となり、この上限定員では不足することになる。

- ・岡山県は中四国の医療に貢献している。この上限定員にはそういったことが反映されていない。国への要望では、このことを強くアピールすべきと思う。
- ・川崎医科大学では大学独自の地域枠 30 人の募集定員を設け、当院または川崎医科大学総合医療センターでの研修を義務付けている。そういったことにも配慮していただきたい。
- ・マッチ数の実績で各病院への配分を検討するのであれば、その数に自治医科大学採用分も入れるべき。
- ・配分に当たっては、各病院の研修プログラムの地域貢献度を考慮してはどうか。
- ・本日この場にいない臨床研修病院へは、どう対応するのか。
- ・へき地の開業医は高齢化しており、臨床研修医の数が絞り込まれると将来が危惧される。

〈事務局回答〉

- ・県から国に対して要望書を提出するようにしたい。
- ・4月15日までに各病院の定員数を決定し、国に報告することになっている。それまでに事務局から再度説明する機会を設けさせていただくので、改めて御協議いただきたい。
- ・自治医科大学採用分をマッチ数に反映させることについて検討し、後日改めて説明したい。
- ・全ての臨床研修病院に周知した上で、各病院の定員数を決めてまいりたい。

その他

・2020年度専攻医一次登録における領域別採用状況について

事務局から、2020年度専攻医一次登録の状況について報告があった。

・専攻医シーリングに係る国への意見について

事務局から、2020年度専攻医シーリングに係る国への要望の取組状況について報告があった。